

産科医療補償制度 第 87 回原因分析委員会 議事要旨

日 時 : 平成 30 年 2 月 6 日 (火) 17 時 00 分～19 時 00 分

場 所 : 公益財団法人日本医療機能評価機構 会議室

出席者 (委員) : 石川浩史、茨聡、井本寛子、楠田聡、佐藤昌司、下屋浩一郎、
鈴木俊治、鈴木利廣、関沢明彦、高田昌代、高橋恒男、豊田郁子、
前田津紀夫、宮澤潤、村越毅、吉田幸洋 (敬称略)

議事概要 :

1) 原因分析委員会における報告書の確認・承認状況について

○平成 29 年 12 月末時点で、原因分析報告書の累計承認件数が 1,649 件となったこと等が報告された。また、報告書作成の迅速化・効率化の取組みにより、平成 27 年 12 月末時点と比較し、報告書の未送付件数が減少し「事例の概要」の平均作成期間が大幅短縮となったことが報告された。

2) 原因分析報告書全文版 (マスキング版) の開示対応状況について

○平成 27 年 11 月の開示方法の変更以降、平成 29 年 12 月末までに、6 件の原因分析報告書全文版 (マスキング版) の利用申請があり、延べ 546 事例の報告書について開示が行われたことが報告された。

3) 原因分析報告書送付後のご意見に対する対応について

○制度のホームページ等に掲載している原因分析に関する Q & A の一部について修正案が検討された。

4) 平成 30 年 4 月以降の原因分析委員会による原因分析報告書の確認フロー

○平成 30 年 4 月の原因分析委員会の新委員長就任に伴い改定予定の、原因分析委員会における原因分析報告書等の確認・承認フローが説明された。

5) 部会審議における確認事項等

○原因分析報告書上の原因の記載や医学的評価のあり方等に関して、原因分析の質および均質性を維持するために、原因分析委員会としての方針を整理した方がよいと提起された事項について考え方を整理した。

6) 分娩機関に対する対応について

○原因分析における、産科医療の質の向上を図ることを目的とした、個別の分娩機関への対応に関する課題につき、委員の意見を聴取した。

7) 原因分析委員会部会の平成 29 年 9 月以降の体制について

○第 86 回原因分析委員会以降の原因分析委員会部会の部会長および部会委員の異動内容 (退任・就任等) について報告された。

以上